

横浜市立大学附属市民総合医療センター薬剤部 2025 年 研究業績

(総説)

川邊一寛：ジャーナルクラブの広場. 月刊薬事 2025 年 2 月号, 67(2): 172-173, 2025.

(著書)

勝亦秀樹：ハイリスク薬のリスクマネジメント. 第 1 章-1 調剤時のリスクマネジメント. 月刊薬事, 67(10): 12-18, 2025.

川邊一寛：病棟・ICU・ER で使えるクリティケア薬 Essence&Practice Update for 2025-2027. じほう, 2-42, 2025.

(学会等発表)

小島昌徳, 杉山菜穂, 鈴木太一, 小杉三弥子, 佐橋幸子：PFM における薬剤師の役割～休日入院の持参薬事前預かり業務の分析～. 第 14 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2025, 福岡, 2025, 3.

関真咲季, 松島美知子, 花谷直美, 山口智子, 森崎結香子, 谷垣柊乃介, 宇野洋司, 小杉三弥子, 佐橋幸子：アザシチジンの採用規格変更による薬剤費削減効果の検討. 第 14 回日本臨床腫瘍薬学会 学術大会 2025, 神奈川, 2025, 3.

小杉三弥子：服薬情報提供書による入院予定患者に関する薬薬連携状況の実態調査. 第 27 回日本医療マネジメント学会学術総会, 宮城, 2025, 7.

谷中美和, 田野島美城, 齊藤 真, 浜之上はるか, 青木茂, 小杉三弥子, 佐橋幸子, 石渡 勇, 倉澤健太郎, 宮城悦子：先天異常と薬剤暴露の関連を調査—クリアリングハウス国際モニタリングセンターのデータから. 第 65 回日本先天異常学会学術集会, 三重, 2025, 7.

谷中美和, 田野島美城, 青木 茂, 小杉三弥子, 佐橋幸子：妊婦にイトラコナゾールとボサコナゾールのどちらを使う? 「禁忌」について考える. 第 5 回妊娠と薬情報研究会学術集会, 東京, 2025, 10.

勝亦秀樹, 吉水輩子, 廣野圭司, 西本知美, 永野由美, 中野雅友樹, 佐藤 仁, 安部 猛, 中村京太：転倒予防への患者参加推進を目的とした、動画を介した運用改善. 第 20 回医療の質・安全学会学術集会, 京都, 2025, 11.

川邊一寛, 江原 環, 谷垣柊乃介, 大内直美, 石川佳世子, 川野道子, 宇野洋司, 小杉三弥子, 佐橋幸子：当院薬剤部における未承認新規医薬品等評価に関する取り組み. 第 20 回医療の質・安全学会学術集会, 京都, 2025, 11.

橋本容子, 小杉三弥子, 佐橋幸子, 海老名俊明：第一世代薬剤溶出ステント留置後に抗血小板薬 2 剤継続にて手術を実施された症例. 第 35 回日本医療薬学会年会, 兵庫, 2025, 11.

近藤潤一, 尾田未来, 森川佳奈, 橋本真梨子, 小杉三弥子, 佐藤渉, 佐橋幸子, 佐藤勉：がん化学療法による吃逆に対してオピオイドローテーションが有効であって切除不能進行胃がんの一例. 第 35 回日本医療薬学会年会, 兵庫, 2025, 11.

鬼頭春菜，谷中美和，田内明佳，宇野洋司，小杉三弥子，田野島美城，佐橋幸子：妊娠中にスボレキサントまたはレンボレキサントを処方された患者の妊娠転帰を検討する後方視的観察研究．第 35 回日本医療薬学会年会，兵庫，2025，11.

新津明穂，尾田未来，砂川由香理，宇野洋司，小杉三弥子，佐橋幸子：PBPM を活用した薬剤師によるレジメンオーダー代行修正の有用性検討．第 35 回日本医療薬学会年会，兵庫，2025，11.

村上漱馬，川邊一寛，谷垣柊乃介，坂本修，金澤温子，関真咲季，宇野洋司，小杉三弥子，佐橋幸子
オンデキサ®投与方法の解説より引用高度救命救急センターにおいて 骨盤骨折に伴う出血に対して ア
ンデキサネットアルファを使用した 3 症例．第 35 回日本医療薬学会年会，兵庫，2025，11.

（その他）

勝亦秀樹：チームで創る医療安全 ～領域を越えた「つながり」の力～．多職種向け医療安全セミナー，神奈川，2025，3.

小杉三弥子：未承認新規医薬品等評価の実際．第 1 回川崎医療安全研究会，神奈川，2025，4.

近藤潤一：がん化学療法における制吐療法について．地域医療連携研修会（横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器病センター、7 区医師会），神奈川，2025，6.

勝亦秀樹：地域薬局と病院薬剤部の協働による危機的状況への対応．令和 7 年度国公立大学附属病院医療安全セミナー特別企画 国際フォーラム，大阪，2025，9.

藤田彩花：標準から最適へ～理想の LDL-C 管理を実現させるには. ACS 診療 Update Seminar（ノバルティスファーマ株式会社），神奈川，2025，12.